

《基礎科目》

科目名	英会話				
担当者氏名	富永 真子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

日本の中学校までに学ぶ基礎文法を「使いこなす技能」を身につければ、英語での日常会話は可能です。再度、基礎をしっかりと学び、それらを応用し自信をもって自らの言葉で発話できるよう指導します。

《授業の到達目標》

他言語習得に必要な4技能（書く、読む、聞く、話す）の中で、瞬発力を要し、自然なコミュニケーションをとる「話す」ことに焦点をあて、基礎文法を応用し「自分自身の身の回りのことを、自分のオリジナルの言葉で伝えるようになる」ことを目標とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 30%
授業内実技 70%

《教科書》

教科書なし
各自ノート2冊を準備する
(1冊はオリジナルテキスト作成用)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業内での英語での発表・発言に対し、その発音、強弱、表現力等を総合的に評価し「授業内獲得ポイント」として授業内に評価し通知する。最終的な期末試験(筆記)にそれらの合計点(70点満点)を加算する。

《成績評価基準》

- ・授業で学んだ文法を使用し、オリジナルの文章を作る応用ができているか。
- ・発音、表情、姿勢、声のトーンなど総合的に「自然な表現」ができているか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション(評価の説明など)	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
2	聞き取れない時の対応の仕方	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
3	聞き取れない時の対応の仕方	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
4	文章の種類(Be動詞かDo動詞)を区別する①	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
5	文章の種類(Be動詞かDo動詞)を区別する	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
6	文章の形(肯定分、否定文、疑問文)①	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
7	文章の形(肯定分、否定文、疑問文)	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
8	文章の形(肯定分、否定文、疑問文)	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
9	時制について(現在、過去、進行形)①	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
10	時制について(現在、過去、進行形)	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
11	時制について(現在、過去、進行形)	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
12	頻度の高い動詞句(希望、強制、予定)①	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
13	頻度の高い動詞句(希望、強制、予定)	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
14	接続詞で複数文章をつなげる、まとめ	復習: 講義内容をノートにまとめる(1時間)
15	試験、まとめ	半期に学んだことを総復習する

《基礎科目》

科目名	中国語				
担当者氏名	藤井 芳子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

1. 中国語でコミュニケーションを取る為に必要な基本を学ぶ。
2. 言語はコミュニケーションの為に道具とされているので、義務教育で学んだ英語と比較しながら習得し、より多くの人と意見交換や感情表現ができる事を意識して学ぶ。
3. 将来の仕事にも生かせる様に、検定試験をも視野に入れて学ぶ。

《教科書》

グッと入門中国語(株)金星堂
芦田久美子・氷野善寛・王牧 著
(中日・日中辞典、音節表、中国地図、漢字ドリル付)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

教科書に対応した課題プリントに取り組む。
採点の上返却されるので各自がしっかりと確認できる。
訂正ヶ所があれば、再提出する事により確実に習得する。

《授業の到達目標》

1. 中国の地理や歴史、文化などに興味を持ち知識を深める。
2. 漢字(簡体字)がより多く、正しく書けるようになる。
3. 日本語とは違う漢字の意味を正しく知り、筆談が出来たり、SNSなどで発信された記事が読み取れるようになる。
4. 自己紹介が中国語で言えるようになる。
5. 数字、年月日、時間がスムーズに言えるようになる。
6. 日本語とは違う語順や文法を学ぶ事で、文章が作れる。

《成績評価基準》

1. 教科書に正しく記入できている。
2. 課題プリントに記入して提出する。
漢字を正しく覚える。
リスニング力の確認。
3. 入退室時に中国語にて挨拶をし、発音をチェックする。
4. 自己紹介プリントにより、発音の練習をする。

《成績評価の方法》

筆記試験(期末) 40%
課題プリント提出 40%
授業の取組 20%

(正しく発音できているか、中国語で挨拶できているか等)

《参考図書》

中国語検定試験の解説本など、適宜紹介。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	【オリエンテーション】 教科書の使い方説明等	この授業における達成目標を立てる。(予習30分) 中国と日本で使われる文字の違いを知る。(復習30分)
2	【中国について/声調】 地理や歴史等を知る	教科書の索引や地図に目を通す。(予習30分) 中国についての知識を得る。声調の練習。(復習30分)
3	【発音の基礎1】 母音/子音の練習	ピンイン(発音記号)とは何かを知る。(予習30分) ピンインが読めて書けるようになる。(復習30分)
4	【発音の基礎2】 複母音/鼻母音の練習	声調符号の付け方を知る。(予習30分) 中国語文字(簡体字)を見て、意味を知る。(復習30分)
5	【発音の基礎3】 発音のまとめ	発音には変調やアル化が有ることを知る。(予習30分) ウォーミングアップのページを見て数字が言えるようになる。(復習30分)
6	【自己紹介の練習1】 自分の名前の中国語読み	自分の名前の中国語読みを調べる。(予習30分) 自己紹介の為に誕生日や年齢が言えるようになる。(復習30分)
7	【自己紹介の練習2】 簡単な自己紹介が出来る	簡単な挨拶が言える。(予習30分) 自己紹介の練習。同級生の名字も言えるようになる。(復習30分)
8	【第1課】 新出単語と会話文	【第1課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
9	【人称代名詞】 私/彼は～です。	人称代名詞の色々を知る。(予習30分) 言い換え練習が出来るようになる。(復習30分)
10	【第2課】 新出単語と会話文	【第2課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
11	【指示代名詞/疑問詞】 これ/あれは～です。	指示代名詞/疑問詞の色々を知る。(予習30分) 言い換え練習が出来るようになる。(復習30分)
12	【第3課】 新出単語と会話文	【第3課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
13	【動詞述語文/時間】 いつ/どこで/何を。する。	動詞述語文の作り方や「いつ/どこで/何を」の語順を知る。(予習30分) 言い換え練習が出来るようになる。(復習30分)
14	【総まとめ】 前期の復習	前期の復習をする。(予習30分) 練習問題を解いてみる。(復習30分)
15	【総まとめ】 習得出来ているかの確認	期末試験として、前期総まとめの問題を解く。(予習30分) 疑問点を確認し解決する。(復習30分)

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	池末 愛香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

実技を主とする

1. 立ち居振る舞いなど、日常生活での作法を身につける
2. 周囲への心配りができ、感謝する心を身につける
3. 盆略点前
4. 薄茶点前(風炉)

《教科書》

帛紗セット

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業終了後にレポートを作成し、次の授業までに提出する

《授業の到達目標》

和室での所作ができるようになる

茶室のしつらえ、道具のとりあわせ等から季節の移り変わりを
感じとることができる

思いやりを持って、互いに尊重しあうことができる

感謝を込めて、一服のお茶をいただくことができる

《成績評価基準》

授業への取り組み方

レポートの内容

所作・点前の習得度

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 30%

課題 % 実技 30%

授業の取組 40%

その他 () %

《参考図書》

『裏千家茶道』 監修・裏千家今日庵
制作・一般財団法人 今日庵

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 立ち居振る舞い	予習内容 シラパスを読む(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
2	お辞儀 襖の開け閉め	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
3	帛紗・扇子の扱い	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
4	茶室での所作	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
5	客の心得 席入り	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
6	客の心得 薄茶・菓子のいただき方	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
7	帛紗さばき 道具の清め方	予習内容 所作を確認する(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
8	帛紗さばき 茶筌通し、茶巾の扱い	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
9	盆略点前	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
10	盆略点前	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
11	盆略点前	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
12	柄杓の扱い	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
13	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
14	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
15	総括	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 授業の復習(30分)

《基礎科目》

科目名	上級読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

日本語能力試験N1レベルを目標とした読解力を上げるための練習を行います。ポイント別学習や模擬問題での練習を行うことで、日本語能力試験の読解を解くために必要な読解力を学び、最終的な実力につながるように対策を行います。授業は課題の解説を主に行うため、予習として課題を解いた上で授業を受け、授業の内容を覚えているうちに復習を行って、次の課題に取り組むようにしてください。

《授業の到達目標》

- ・文の中身や骨組み、あとに続く内容などについて判断し、文章理解ができる。
- ・未習単語や専門用語のある文章も文脈から類推して読める。
- ・文章の内容を系統立てて理解し、必要な情報を汲み取ることができる。
- ・日本語能力試験を目標とした読解力を習得することで、正確に速く、日本語の文章を読むことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
 課題 30% 実技 %
 授業の取組 30%
 その他 () %

《教科書》

日本語能力試験問題集N1読解スピードマスター (Jリサーチ出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は、次の授業時に解説する。理解度を確かめるために適宜小テストを実施し、2週間以内に添削して返却する。

《成績評価基準》

- ・文の中身や骨組み、あとに続く内容などについて判断ができ、自分の見解を述べることができたか。
- ・未習単語や専門用語のある文章も類推して内容を理解できたか。
- ・速く正確に試験時間内に問題を解き終わり、自主的に確認作業を行うことができたか。

《参考図書》

日本語能力試験N1関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業の進め方 内容理解短文N1	予習：科目内容の確認 30分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
2	内容理解短文N1	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
3	内容理解中文N1	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
4	内容理解中文N1 新聞記事	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
5	内容理解長文N1 新聞記事	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
6	内容理解長文N1 新聞記事	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
7	情報検索N1 就活情報の検索	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
8	情報検索N1 就活情報の検索	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
9	主張理解N1 新聞記事	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
10	模擬試験	予習：模試の準備 復習：模試の見直し
11	模試のフィードバック 主張理解N1	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
12	統合理解N1	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
13	統合理解N1	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
14	統合理解N1	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
15	期末試験 まとめ	予習：試験準備 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分

《基礎科目》

科目名	検定文法 - A				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

- 1.N1レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
- 2.N1レベルの文法を使って、文章を書く練習をする。
- 3.N1レベルの聴解練習をする。

《教科書》

『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN1』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各ユニット終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
- ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N1に合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- 3.テキストで学んだN1文法を使用し、文章が書ける。
- 4.N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えを導き出せる。

《成績評価基準》

- ・N1文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
- ・N1文法を使用し、文章が書けるようになったか。
- ・N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えが導き出せるようになったか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《参考図書》

パワードリル文法N1

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N1文法 導入・練習	予習：テキストの内容を確認/1年次に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：第1回授業内容の復習(30分)
2	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第2回授業内容の予習(30分) 復習：第2回授業内容の復習(30分)
3	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第3回授業内容の予習(30分) 復習：第3回授業内容の復習(30分)
4	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第4回授業内容の予習(30分) 復習：第4回授業内容の復習(30分)
5	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第5回授業内容の予習(30分) 復習：第5回授業内容の復習(30分)
6	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第6回授業内容の予習(30分) 復習：第6回授業内容の復習(30分)
7	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第7回授業内容の予習(30分) 復習：第7回授業内容の復習(30分)
8	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第8回授業内容の予習(30分) 復習：第8回授業内容の復習(30分)
9	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第9回授業内容の予習(30分) 復習：第9回授業内容の復習(30分)
10	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第10回授業内容の予習(30分) 復習：第10回授業内容の復習(30分)
11	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第11回授業内容の予習(30分) 復習：第11回授業内容の復習(30分)
12	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第12回授業内容の予習(30分) 復習：第12回授業内容の復習(30分)
13	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第13回授業内容の予習(30分) 復習：第13回授業内容の復習(30分)
14	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第14回授業内容の予習(30分) 復習：第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習 期末テスト	予習：テスト前の総復習(60分) 復習：テスト後の確認(30分)

《基礎科目》

科目名	検定文字語彙 - A				
担当者氏名	井上 しづ恵				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

日本語能力試験N1レベルの語彙を習得する。
N1の漢字の読みと書きの徹底。
学生の習得度を優先するため、授業の進度、スケジュールは変更することがある。

《教科書》

新完全マスター語彙 日本語能力試験N1

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業内でフィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・日本語能力試験N1の合格
- ・N1レベルまでの漢字を使った単語400語が読める。
- ・N1レベルまでの単語300語の漢字が書ける。

《成績評価基準》

小テスト、小テストのフィードバック、宿題の提出など、どれだけ自宅学習をしているかを評価の基準とする。

《成績評価の方法》

- 筆記試験 50%
- 課題 20%
- 授業の取組 10%
- その他(小テスト) 20%

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 小テスト	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
2	新完全マスターN1 第3章1課「漢語」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
3	第3章1課「漢語」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
4	第3章2課「和語」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
5	第3章2課「和語」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
6	第4章1課「程度・時間 ・頻度の副詞」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
7	第4章1課「程度・時間 ・頻度の副詞」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
8	第4章2課「後ろに決ま った表現がくる副詞」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
9	第4章3課「その他の副 詞」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
10	第4章3課「その他の副 詞」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
11	第7章1課「複合動詞 」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
12	第7章1課「複合動詞 」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
13	第7章2課「複合動詞 」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
14	第7章2課「複合動詞 」	教科書の該当するページの例文を5回以上音読する。(1時間) 例文を覚え、練習問題をする。漢字を覚える。(2時間)
15	第7章3課「接尾辞・接 頭辞」まとめ	今までの例文を確認し、間違った練習問題を復習する(3時間)

《基礎科目》

科目名	アジア文化交流史				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力		1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。			

《授業の概要》

日本との長い文化交流を時系列に紹介する
理解を深めるために 様々な資料やパワーポイントなどを用いる

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テストと課題レポートの提出

《授業の到達目標》

文化交流がもたらされた歴史の必然性を理解する
過去の歴史が現代に影響し 未来を形づくることを意識化させる

《成績評価基準》

授業中の態度 小テスト 評価テスト

《成績評価の方法》

筆記試験70 % レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組30 %
その他 () %

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)	
1	オリエンテーション 農業革命	復習	縄文と弥生時代(2時間)
2	古墳時代	予習 復習	奈良へのながれ(2時間) 弥生までの流れ(2時間)
3	飛鳥から奈良時代 遣隋使 遣唐使	予習 復習	平安時代(2時間) 中国との往来がかえたもの(2時間)
4	奈良時代 仏教文化	予習 復習	平安時代(2時間) 奈良時代を終わらせたもの(2時間)
5	平安時代 国風文化	予習 復習	鎌倉時代(2時間) 平安時代の貴族の政治(2時間)
6	鎌倉時代 武士と元寇	予習 復習	室町時代(2時間) 武士が変えた社会 元寇の影響
7	室町時代 文化	予習 復習	安土桃山(2時間) 室町文化(2時間)
8	安土桃山 鉄砲伝来	予習 復習	江戸時代(2時間) なぜ鉄砲は日本へきたかの(2時間)
9	江戸時代 鎖国と江戸文化	予習 復習	明治(2時間) なぜ鎖国をしたのか(2時間)
10	江戸時代 明治維新 黒船が日本へ	予習 復習	大正時代(2時間) なぜ黒船は日本へ(2時間)
11	明治時代 大正時代 条約改正 世界大戦	予習 復習	昭和時代(2時間) 大正時代(2時間)
12	昭和時代 敗戦まで	予習 復習	敗戦後の日本(2時間) 原爆投下までの道(2時間)
13	敗戦から現代まで	復習	全体の流れを把握する(4時間)
14	評価テスト対策	復習	対策テストの理解 (4時間)
15	評価テスト	自宅で復習	

《専門科目》

科目名	ジャーナリズム論				
担当者氏名	今木 清志				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律的かつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》

社会・経済・政治の出来事背景にある真実を伝えるジャーナリズムは、健全な民主主義社会に欠かせない重要な役割を果たしている。
この授業では、ジャーナリズムを題材とする様々な映像作品を用いて、ジャーナリズムの現状や課題、役割について論じる。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

- (1) ジャーナリズムの現状を説明できる
- (2) ジャーナリズムの課題を説明できる
- (3) ジャーナリズムの役割とは何かを説明できる

《成績評価基準》

- (1) ジャーナリズムの現状について正確に説明できているか評価する
- (2) ジャーナリズムの課題について正確に説明できているか評価する
- (3) ジャーナリズムの役割について正確に説明できているか評価する

《成績評価の方法》

授業の取組 50%
その他(リアクションペーパーなど) 50%

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	事件報道とテレビ 松本サリン事件	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
2	事件報道とテレビ 松本サリン事件	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
3	事件報道とテレビ 松本サリン事件	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
4	事故報道と新聞 日航機墜落事故	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
5	事故報道と新聞 日航機墜落事故	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
6	事故報道と新聞 日航機墜落事故	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
7	事故報道と新聞 日航機墜落事故	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
8	裁判報道と雑誌 光市母子殺害事件	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
9	裁判報道と雑誌 光市母子殺害事件	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
10	裁判報道と雑誌 光市母子殺害事件	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
11	裁判報道と雑誌 光市母子殺害事件	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
12	戦争報道と写真 ベトナム戦争	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
13	戦争報道と写真 ベトナム戦争	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
14	戦争報道と写真 ベトナム戦争	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：テレビ・新聞のニュースに目を通して見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	女優論				
担当者氏名	徳永 玲子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。			

《授業の概要》

発声練習・基礎訓練
演じる模擬練習

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

希望者に個別で、講評の時間を設ける

《授業の到達目標》

表現を实践。想像力・集中力を高め、肉体を使って演じることに慣れる。

《成績評価基準》

授業態度20パーセント、実技試験80パーセント

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 % 実技 80 %
授業の取組 20 %
その他 () %

《参考図書》

「はなしことば練習帳」晩成書房

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 「星の王子さま」	小説・脚本を読む(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
2	発声練習・基礎訓練 「星の王子さま」	小説・脚本を読む(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
3	発声練習・基礎訓練 コントを作ろう	小説・脚本を読む(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
4	発声練習・基礎訓練 コントを作ろう	小説・脚本を読む(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
5	発声練習・基礎訓練 朗読劇を作ろう	小説・脚本を読む(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
6	発声練習・基礎訓練 朗読劇を作ろう	小説・脚本を読む(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
7	発声練習・基礎訓練 ミュージカルを作ろう	小説・脚本を読む(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
8	発声練習・基礎訓練 ミュージカルを作ろう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
9	発声練習・基礎訓練 芝居を作ろう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
10	発声練習・基礎訓練 芝居を作ろう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
11	発声練習・基礎訓練 演じてみよう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
12	発声練習・基礎訓練 演じてみよう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
13	発声練習・基礎訓練 演じてみよう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
14	発声練習・基礎訓練 演じてみよう	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
15	発声練習・基礎訓練 「外郎売」朗読テスト	小説・脚本を読む。「外郎売」の暗唱(30分) 本日の授業のおさらい(30分)

《専門科目》

科目名	エスニシティ研究（アジア）				
担当者氏名	海村 佳惟				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

日本をはじめとするアジアの代表的な10ヶ国のエスニシティを研究する。代表的な10ヶ国の基本状況、風土、信仰宗教、民族構成、風俗風習や文化背景をわかりやすく理解してもらい、それぞれの国の日本との相違点と共通点を各自考えてもらい、発表してもらい、先入観を捨て、それぞれの最新国情、文化などを提示することで、グローバルな時代での多文化共生と理解を一緒に考えていく。

《授業の到達目標》

本授業の到達目標はアジアの諸国におけるエスニシティの研究を通じて、アジア諸国の民族、社会や文化の相違点と共通点を見つけ、理解すること。アジアへの理解が深まり、円滑なコミュニケーションがとれるようになること。アジア諸国を知ることで自国の特徴などを再確認することができる。これからのグローバルな世界の舞台で活躍できるような知識と教養を楽しく身につけることができる。

《成績評価の方法》

筆記試験40% レポート %
 課題30% 実技 %
 授業の取組30%
 その他 () %

《教科書》

資料配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の授業の最初に各自調べた一週間の気になったアジアのニュースを発表してもらい、授業の最後では、その課で習った国の日本との相違点と共通点をまとめて提出する。

《成績評価基準》

授業の取組(30%)：一週間の気になったアジアのニュース発表、授業で習った国と日本の相違点と共通点をまとめる。課題(30%)：毎日アジアで起こったニュースを確認し、自分が一番気になったものをまとめる。次の授業で習う国の予習をする。筆記試験(40%)：期末試験。

《参考図書》

『現代社会とエスニシティ』 綾部恒雄 弘文堂

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	エスニシティについて	国際化、共生、エスニシティそして日本社会という文章を熟読し、理解する(2時間) 熟読した文章と授業内容を照らし合わせ、理解する。(2時間)
2	アジアのエスニシティについて	アジア諸国の民族風土について調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
3	日本のエスニシティ研究	日本各地の風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
4	中国のエスニシティ研究 1	中国北部の風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
5	中国のエスニシティ研究 2	中国南部の風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
6	韓国のエスニシティ研究	韓国の風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
7	インドネシアのエスニシティ研究	インドネシアの風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
8	ベトナムのエスニシティ研究	ベトナムの風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
9	インドのエスニシティ研究	インドの風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
10	マレーシアのエスニシティ研究	マレーシアの風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
11	シンガポールのエスニシティ研究	シンガポールの風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
12	フィリピンのエスニシティ研究	フィリピンの風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
13	タイのエスニシティ研究	タイの風俗風習などを調べる(2時間) 授業内容の整理(2時間)
14	総括、まとめ1	日本からベトナムまでの授業内容を整理する(2時間) 各国と日本との相違点と共通点をまとめる(2時間)
15	総括、まとめ2	インドからタイまでの授業内容を整理する(2時間) 各国と日本との相違点と共通点をまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	通訳概論				
担当者氏名	BUI THI THU SANG				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

授業の前半は通訳の基本と言った通訳の定義・種類・技術、通訳者としての職業倫理を学ぶ。後半は分野別で関連の制度を理解し、その分野の専門用語を覚える。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

クイズは授業内フィードバックする。
通訳用単語帳を提出した後、一週間以内フィードバックする。

《授業の到達目標》

通訳の基本や通訳者としての職業倫理が理解できる。通訳に役に立つ日本制度についての知識及び専門用語を身につける。

《成績評価基準》

クイズ
通訳用単語帳作成

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 50% 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

「通訳の技術」 小松達也 (研究社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	通訳の基本	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習する
2	通訳者としての職業倫理	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習する
3	通訳者に必要な知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習する
4	通訳者に必要な実技	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習する
5	逐次通訳	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
6	同時通訳	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
7	一般知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
8	一般知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
9	文化的な知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
10	文化的な知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
11	医療分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
12	司法分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
13	教育分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
14	観光分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
15	ビジネス分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する

《専門科目》

科目名	経済学				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

この講義では、図表を用いながら、ミクロ経済学の基礎的な概念を分かりやすく説明する。また講義の際に必要な「最低限用いる数学的知識」に関しては、講義内において詳しく説明を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《授業の到達目標》

ミクロ経済学は個人として、企業として「私たちがどのような選択をするべきか」についての基準を教えてくれる学問である。この講義では、なるべく身近な話題を用いながら「消費者としての選択や企業としての行動がなぜ選択されたのか」を明解に解説する。最終的な目標として、受講生が「日々の生活や新聞ニュースで目にする社会」を俯瞰的に捉え理解し、自分なりに意見を出せるようになることを目指す。

《成績評価基準》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《参考図書》

・坂井 豊貴(2017)『ミクロ経済学入門の入門』岩波書店
・西森 晃(2012)『これから経済学をまなぶ人のための数学基礎レッスン』日本経済評論社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ミクロ経済学とは何か	予習：ミクロ経済学とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
2	需要曲線と供給曲線	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
3	市場均衡とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
4	消費者の好みと効用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
5	無差別曲線と限界代替率	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
6	最適な需要量の決定	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
7	企業の利潤最大化の基礎	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
8	企業の利潤最大化問題と微分の活用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
9	平均費用と限界費用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
10	独占市場の特徴について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
11	リスクに対する考え方	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
12	ゲーム理論の基礎	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
13	ゲーム理論の応用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
14	ミクロ経済学にかかわる最近のトピックス	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
15	期末試験	予習：これまでの全内容を復習する(5時間) 復習：講義内容の全体を振り返る(2時間)

《専門科目》

科目名	経営学				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

企業経営について学んでいく上で最も基礎的な科目である経営学について学ぶ講義である。その際、企業の基本的な活動を理解するために、戦略、経営組織、経営管理、会計学入門などの諸理論の基礎を重点的に扱う。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《授業の到達目標》

本講義では経営学の教科書を中心とした専門知識の理解に留まるだけではなく、現実の企業が実際にどのような方針(経営戦略や事業戦略)を立て、その方針に基づいてどのような組織を作り、その仕組みの中でどのように「ヒト・モノ・カネ」を管理しているのか、という一連の経営活動を自らの考えで理解できるようにすることを目指す。

《成績評価基準》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《参考図書》

上林憲雄 他(2018)『経験から学ぶ経営学入門[第2版]』有斐閣

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	経営学とはどんな学問か	予習: 経営学とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
2	現代の企業論	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
3	コーポレートガバナンス入門	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
4	経営理念と経営戦略	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
5	経営管理論入門	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
6	組織間関係論	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
7	生産管理論入門	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
8	組織構造と職務設計	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
9	モチベーションとリーダーシップ	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
10	雇用システム	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
11	報酬制度	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
12	会計学入門	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
13	プラットフォームビジネス【その特徴について】	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
14	プラットフォームビジネス【映像資料の視聴】	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
15	期末試験	予習: これまでの全内容を復習する(5時間) 復習: 講義内容の全体を振り返る(2時間)

《専門科目》

科目名	異文化コミュニケーション論				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。 1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

日本はもちろん世界各国で出自や文化背景の異なる人々との交流が活発になっていきます。文化交流にとどまらず、友人や隣人として多様な社会で共生していく必要があります。そのために、今までは意識していなかった「文化」や「コミュニケーション」に目を向け、客観的な視点で物事を理解し、表現していく力が必要です。この授業では、意識していない文化を考えるものさしとしての知識を得ることを目標とします。

《授業の到達目標》

1. 普段の生活では気づいていない「文化」を意識化し、相対的に観察できるようになる。
2. 異文化コミュニケーションIで学んだ知識をもとに、様々な事柄の文化的背景を理解し、対処法を考えられるようになる。
3. 自文化および他文化に属する他者の習慣、特徴などを説明できるようにする。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却

《成績評価基準》

1. 配布する課題プリントに、自分自身の意見や新しい発見を記入し提出すること
2. 授業で得た知識を、実生活の中で関連付けられるか具体例を示して説明できていること
3. 授業内でのグループワーク、発表等で自らの文化や価値観について積極的に説明しようと努力していること

《参考図書》

「異文化トレーニング-ボーダレス社会を生きる」八代京子他著(三修社)
「異文化理解入門」原沢伊都夫著(研究社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 多様性	予習：シラバス熟読・理解(1時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
2	多様性	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
3	多様性	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
4	ファクトフルネス(先進国と発展途上国)	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
5	グローバル化	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
6	グローバル化	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
7	コンフリクト・マネジメント	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
8	DIE法	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
9	異文化摩擦	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
10	異文化摩擦	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
11	異文化シュミレーション	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
12	メンツ(文化による違い)	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
13	ナショナリズム	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
14	ビジネス交渉/復習	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
15	試験とまとめ	予習：授業内容を整理し、理解しておく(4時間) 復習：解説を読み復習(2時間)

《専門科目》

科目名	日本語教授法				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

この科目は留学生向けの内容です。日本語を学んだ留学生は、将来日本語教師として教壇に立つだけではなく、会社の社員に日本語を教える可能性も十分考えられます。また、教授法や指導法を学ぶことによって自らの日本語学習を振り返る機会にもなります。この授業では、初級の日本語文法を中心にその用法や注意点などを確認しつつ、その伝え方を考えます。

《教科書》

『みんなの日本語1第2版』（スリーエーネットワーク）
『みんなの日本語II第2版』（スリーエーネットワーク）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却

《授業の到達目標》

- 1.日本語初級の文法表現について、要点を理解しつつ他者に分かりやすく説明できるようになる。
- 2.日本語を含めた外国語のさまざまな教授法を体験しながら理解し、自らの語学学習にも活かせるようにする。
- 3.他者の前で分かりやすく話す言い方や態度を身につけ、実践する。

《成績評価基準》

- 1.担当箇所を発表し、その分かりやすさや理解度を相互評価、長所や改善点などを指摘しあう。
- 2.紹介される学習メソッドの体験などに積極的に参加し、その効果等について意見を述べること。
- 3.発表時には初級学習者にとってわかりやすい「やさしい日本語」と、はっきりとした発音を心がけて話すこと。

《成績評価の方法》

筆記試験 30%
課題 30%
授業の取組 40%

《参考図書》

『新・はじめての日本語教育2 日本語教育の基礎知識』高見澤 孟著(アスク)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 日本語教授法	予習：初級文法を復習しておく(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
2	日本語教材の分析と活用	予習：自身の日本語テキストの前書き部分を読んで理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
3	初級日本語指導(第1課~第7課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
4	初級日本語指導(第8課~第13課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
5	初級日本語指導(第14課~第16課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
6	初級日本語指導(第17課~第19課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
7	初級日本語指導(第20課~第22課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
8	初級日本語指導(第23課~第25課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
9	初級日本語指導(第26課~第28課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
10	初級日本語指導(第29課~第30課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
11	初級日本語指導(第31課~第36課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
12	初級日本語指導(第37課~第39課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
13	初級日本語指導(第40課~第45課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
14	初級日本語指導(第46課~第48課)	予習：該当項目について予習し、意味や用法をよく理解(2時間) 復習：配布資料熟読(2時間)
15	まとめと期末試験	予習：試験に向けて授業内容を整理しておく(3時間) 復習：解説を読み理解(1時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体の構造や使い方について解説するとともに、様々な身体文化の紹介を通し、表現活動全般における広い視野を身につけていく。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出したレポートまたはパフォーマンスに対し、講評の時間を設けます。

《授業の到達目標》

からだを使った様々な表現方法に触れ、表現者のプロとしての意識を身につける。それぞれの目標を設定し、客観的に自分を分析しながらよりよいパフォーマンスの技術を身につける。

《成績評価基準》

自身の身体について積極的に興味・関心を持ち、様々なジャンルの表現活動に目を向け、その中に共通する表現力の高さや豊かさを自分なりに考察することができるかどうか判断します。また、それぞれの研究テーマごとのパフォーマンス発表およびプレゼンテーションの内容を評価します。

《成績評価の方法》

レポート 30%
授業の取組 70%

《参考図書》

「進化するミュージカル」
小山内伸 著

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分)
2	研究テーマの設定1	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分)
3	研究テーマの設定2	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分)
4	研究テーマの設定3	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分)
5	実務研究1	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
6	実務研究2	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
7	実務研究3	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
8	実務研究4	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
9	実務研究5	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
10	実務研究6	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
11	実務研究7	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
12	実務研究8	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
13	中間発表のための準備	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
14	研究テーマごとの中間発表	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
15	まとめ	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる(30分) 復習：前期の自身の取り組みを振り返り、後期の計画を立てる(30分)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	徳永 玲子				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

脚本の創作・分析・読み合わせ・立ち稽古・スタッフ作業の分担・発表。

《教科書》

使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

創作した脚本や、登場人物等の分析、スタッフ用の台本・図面について、講評や解説、コメントをつけて、返却する。

《授業の到達目標》

芝居を創る。

《成績評価基準》

授業への取り組み。
脚本、分析文、スタッフ作業における台本・図面等のの提出物。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート 20%
課題 50% 実技 30%
授業の取組 20%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 芝居の構成・テーマ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
2	発声練習・基礎訓練 芝居の脚本づくり	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
3	発声練習・基礎訓練 芝居の脚本の創作	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
4	発声練習・基礎訓練 芝居の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
5	発声練習・基礎訓練 芝居の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
6	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
7	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
8	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
9	発声練習・基礎訓練 芝居の構成・テーマ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
10	発声練習・基礎訓練 芝居の脚本づくり	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
11	発声練習・基礎訓練 芝居の脚本の創作	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
12	発声練習・基礎訓練 芝居の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
13	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
14	発声練習・基礎訓練 芝居の立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
15	発表	発声練習・基礎訓練を行う。(30分)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

ゼミナールではさまざまな国の国や地域の文化、思想、習慣などについてディスカッションを行います。それにあたって、一人一人がテーマに沿って事前に調べて発表し、ディスカッション後にはレポート等の形でまとめを行います。普段はテレビやインターネットなどのメディアを通じてのみ知る情報と、実際の情報がどのように異なるのかを意識して、各回の授業にのぞんでください。

《授業の到達目標》

1. 自らテーマを選択し、調査して発表するまでを主体的に行うようになること。
2. インタビューや発表などを通して、他者の話を「積極的に」聞けるようになること。
3. メディアを通じた情報や一般的なステレオタイプについて認識を持てるようになること。

《成績評価の方法》

課題 50%
授業の取組 50%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却

《成績評価基準》

1. 発表に向けて自ら計画的に準備をすすめ、インタビュー等に臨むこと。
2. インタビューやディスカッションにおいて積極的に他者とコミュニケーションを図ること。
3. 質問をしたり意見を述べたりしながら、積極的に意見を聞く姿勢を示すこと。

《参考図書》

『異文化コミュニケーション研究法』石井敏、久米昭元編
(有斐閣部ブックス)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 事前準備	復習：インタビュー練習(1時間)
2	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
3	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)
4	事前準備	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー練習(1時間)
5	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
6	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)
7	事前準備	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー練習(1時間)
8	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
9	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)
10	事前準備	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー練習(1時間)
11	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
12	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)
13	事前準備	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー練習(1時間)
14	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
15	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	今木 清志				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

映画・ドラマ等の映像作品は時代を映す鏡である。この授業では、様々な映像作品を用いて、映画・ドラマの歴史や、制作された時代の社会状況との関連について分析し、映像作品の放つメッセージを論じる。
さらに、映像作品分析と並行して、そこから得た学びを活かして、実際にドラマ制作を行う。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

- (1)映画・ドラマの歴史について説明できる
- (2)映画・ドラマについて、制作された時代の社会状況と関連づけて説明できる
- (3)映画・ドラマの放つメッセージを読み解くことができる
- (4)映像作品分析で得た学びを活かしたドラマ制作ができる

《成績評価基準》

- (1)映画・ドラマの歴史について正確に説明できるか評価する
- (2)映像作品を制作当時の社会状況と関連づけて説明できるか評価する
- (3)映像作品のメッセージを読み解くことができるか評価する
- (4)映像作品分析から得た学びを活かしたドラマ制作ができるか評価する

《成績評価の方法》

授業の取組 50%
その他（リアクションペーパーなど） 50%

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
2	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
3	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
4	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
5	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
6	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
7	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
8	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
9	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
10	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
11	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
12	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
13	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
14	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	イベント研修				
担当者氏名	今木 清志、徳永 玲子、宮谷 未知子、黒瀬 菜々、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

本学科は対外ライブを年3回程度開催、対外発表会を年1回開催し、ダンスユニット・声優ユニット・演劇ユニット・テクグループそれぞれの学生達が自力で対外的イベントを構成・展開しうる水準を目指すために、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員等が指導する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

イベント終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《授業の到達目標》

本学科はあくまで「デビューの名に値するデビューを目指す」学科である。対外的イベントを展開しうるだけの基礎的資質を有した学生に対して、ジャンル別の特訓を課し、学科主催のイベントという総合的なエンターテイメントショーを構成できる水準にまで上昇せしめることを目的とする。

《成績評価基準》

各グループがいかなる自主的訓練を積み重ねたか、観客にいかなる感動を与えたかの2点に於いて評価する。

《成績評価の方法》

授業の取組 100%

《参考図書》

世界カワイイ革命
櫻井孝昌 著（PHP 新書）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス(年間計画)	予習:学内の年間行事、制度等を確認すること(30分) 復習:説明内容メモ見直し(30分)
2	イベント企画1	予習:年間イベント計画の検討(30分) 復習:イベント企画の内容の見直し(30分)
3	イベント企画2	予習:年間イベント計画の検討(30分) 復習:イベント企画の内容の見直し(30分)
4	イベント練習1	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:練習内容の見直し(30分)
5	イベント練習2	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:練習内容の見直し(30分)
6	イベント出演	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:本番の反省(30分)
7	出演イベントに関する振り返り	予習:様々な予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:ライブ配信内容の企画案作成(30分)
8	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成1	予習:様々な予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:ライブ配信内容の企画案作成(30分)
9	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成2	予習:様々な予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:ライブ配信内容の企画案作成(30分)
10	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成3	予習:様々な予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:ライブ配信内容の企画案作成(30分)
11	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習1	予習:ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習:配信ライブの練習内容の検討(30分)
12	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習2	予習:ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習:配信ライブの練習内容の検討(30分)
13	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習3	予習:ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習:配信ライブの練習内容の検討(30分)
14	「SHOWROOM」学科配信の実施4	予習:ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習:配信ライブ本番に対する反省(30分)
15	1年間の振り返り・後期イベントの企画提案	予習:前期実施したイベントの振り返り(30分) 復習:後期イベントへの企画を検討する(30分)

《実務科目》

科目名	メイク				
担当者氏名	南 ありさ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ご自身の顔分析をし、様々なメイクパターンを習得するメイクのバリエーションを増やす

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験後、個別にフィードバックを行う

《授業の到達目標》

メイクのバリエーションを習得
 カラーや質感によってのメイクの見え方を学ぶ
 モデルやタレント等に向けての自身のメイク技術を上げる
 ディスカッションにより、自身の感性を広げる

《成績評価基準》

実技試験にて評価

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 20% 実技 60%
 授業の取組 20%
 その他 () %

《参考図書》

西島悦『バランス美人メイクのきほん』マガジンハウス

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 基本のプロモーション	メイクIで配布したプリントを確認(復習15分)
2	ベースメイク実技 基本のプロモーション	基本のプロモーションの確認(復習15分) ベースメイクの道具の確認(予習15分)
3	ベースメイク実技 基本のプロモーション	基本のプロモーションの確認(復習15分) ベースメイクの道具の確認(予習15分)
4	アイブロー実技 基本のプロモーション	基本のプロモーションの確認(復習15分) アイブローの描き方の確認(予習15分)
5	目元実技 基本のプロモーション	基本のプロモーションの確認(復習15分) アイシャドーの色味と質感の確認(予習15分)
6	目元実技 基本のプロモーション	基本のプロモーションの確認(復習15分) パターン別の目元実技の確認(予習15分)
7	チーク実技 基本のプロモーション	基本のプロモーションの確認(復習15分) チークの入れ方の確認(予習15分)
8	口元、仕上げ実技 基本のプロモーション	基本のプロモーションの確認(復習15分) 仕上げの確認(予習15分)
9	イメージに合わせたメイク	今までの復習(復習15分) 次回のメイクプラン(予習15分)
10	イメージに合わせたメイク	今までの復習(復習15分) 次回のメイクプラン(予習15分)
11	イメージに合わせたメイク	今までの復習(復習15分) 次回のメイクプラン(予習15分)
12	イメージに合わせたメイク	今までの復習(復習15分) 次回のメイクプラン(予習15分)
13	イメージに合わせたメイク	今までの復習(復習15分) 次回のメイクプラン(予習15分)
14	イメージに合わせたメイク	今までの復習(復習15分) 次回のメイクプラン(予習15分)
15	まとめ	今までの復習(復習15分) 次回のメイクプラン(予習15分)

《実務科目》

科目名	ボイス・トレーニング				
担当者氏名	林 麻耶				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ソプラノ歌手である教員が、音程やリズムなどを正確に歌うだけでなく、歌を通して自己表現する方法、感情表現する方法など、応用的な部分を教えます。最終回には公開発表会を行うので、そこに向けて作品を作りあげていきます。

《授業の到達目標》

より美しく響きのある音色を求めて、発声法・呼吸法を楽しく勉強します。また、有名なミュージカルから、ソロやアンサンブルシーンを取り上げ、メロディー・リズム・ハーモニーを体で感じ、聞き手の心に響くように歌うことを目標とします。

《成績評価の方法》

実技 60%
授業の取組 40%

《教科書》

コーラス・トレーニング2
(1年生から2年間使用します)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験は全て実技です。
動画撮影を行い、振り返って感想を述べあうと共に、今後の課題を確認します。

《成績評価基準》

到達目標に基づき、平常の授業への取り組みと、積極的な姿勢を総合的に評価します。

《参考図書》

授業時にプリントを配布します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
2	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
3	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
4	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
5	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
6	ソロ曲	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
7	ソロ曲	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
8	ソロ曲	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
9	ソロ曲	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
10	外国語の歌	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
11	外国語の歌	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
12	外国語の歌	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
13	外国語の歌	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
14	発表会リハーサル 仕上げ	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
15	公開発表会 まとめ	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)

《実務科目》

科目名	演劇表現演習				
担当者氏名	徳永 玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

演技・ポージング・司会・ナレーション・アフレコなどの訓練

《教科書》

使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技の後、解説、講評を行う。

《授業の到達目標》

表情豊かな人になる。
魅力的な美しい動き、声、表情で、演技・表現できるようになる。

《成績評価基準》

「外郎売」の朗読

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 % 実技 80 %
授業の取組 20 %
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 「モデル」ポージング	モデルのウォーキングやポージングを、動画などで見る。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
2	発声練習・基礎訓練 「就活対策」	就活の身だしなみ・お辞儀の仕方・受け答え方など、動画などで見る。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
3	発声練習・基礎訓練 司会 イベント	司会の原稿を下読みする。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
4	発声練習・基礎訓練 司会 結婚披露宴	結婚披露宴の司会進行プログラムと、台本文例集を見る。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
5	発声練習・基礎訓練 ナレーション	ナレーション原稿の下読み。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
6	発声練習・基礎訓練 ニュース・天気予報	ニュース・天気予報原稿の下読み。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
7	発声練習・基礎訓練 フリートーク	フリートークのテーマについて思うことをメモする。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
8	発声練習・基礎訓練 新聞・雑誌を読み解く	新聞・雑誌の下読み。思うことをメモする。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
9	発声練習・基礎訓練 自己PR・立ち方	自己PRについてまとめる。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
10	発声練習・基礎訓練 インタビュー	インタビュー内容をメモする。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
11	発声練習・基礎訓練 レポート「絵・写真」	「絵・写真」を見て、思うことをメモする。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
12	発声練習・基礎訓練 朗読「たけくらべ」	樋口一葉作「たけくらべ」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
13	発声練習・基礎訓練 朗読「たけくらべ」	樋口一葉作「たけくらべ」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
14	発声練習・基礎訓練 朗読・シェイクスピア	シェイクスピア作品を読む。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
15	「外郎売」朗読テスト	「外郎売」を読む。

《実務科目》

科目名	ボディ・メイキング				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ダンスやエクササイズ指導の経験を持つ教員がその実務経験を活かし、健康でバランスのとれたプロポーションづくりのためのトレーニング方法や、ストレッチ方法を指導する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《授業の到達目標》

より幅広い表現力を養うため、自身の身体と向き合い適切なコントロールができるようになる。健康でバランスのとれたプロポーションをつくるための方法を身につける。

《成績評価基準》

自分の身体へ真摯に向き合い、適切に身体をコントロール出来ているか評価する。また、それぞれのエクササイズやストレッチの意味を理解し、積極的に授業へ取り組んでいるかどうかを評価する。

《成績評価の方法》

実技 30%
授業の取組 70%

《参考図書》

新版「これ一冊できちんとわかるピラティス」
新井亜樹 監修
「最強のヨガレッスン」レスリー・カミノフ著

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	身体の特徴を知る(アライメントチェック)	予習:自分の理想とするプロポーションを考え画像を集める(30分) 復習:アライメントチェックを元に自分の身体的特徴を分析する(30分)
2	基本1(骨盤のコントロール)	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
3	基本2(背骨のコントロール)	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
4	基本3(肩甲骨のコントロール)	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
5	基本4(腕・脚のコントロール)	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
6	バランス感覚を身につける1(ボール)	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
7	バランス感覚を身につける2(ボール)	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
8	バランス感覚を身につける3(ボール)	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
9	柔軟性向上のためのストレッチ1	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
10	柔軟性向上のためのストレッチ2	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
11	柔軟性向上のためのストレッチ3	予習:指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
12	エクササイズ・ストレッチプランを組み立てる1	予習:これまでの授業の内容を元に自分に必要なエクササイズをまとめる(30分) 復習:自分で作成したプランを自宅で実行する(30分)
13	エクササイズ・ストレッチプランを組み立てる2	予習:これまでの授業の内容を元に自分に必要なエクササイズをまとめる(30分) 復習:自分で作成したプランを自宅で実行する(30分)
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習:これまでの授業の内容をまとめる(30分) 復習:テストの内容を復習する(30分)
15	フィードバック・まとめ	予習:これまでの授業の内容をまとめる(30分) 復習:自分で作成したプランを自宅で実行する(30分)

《実務科目》

科目名	洋舞特演 - A				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体表現の幅を広げステージで表現するための実践的授業を行う。また、踊るために必要な身体づくりのためのトレーニング指導を行う。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《授業の到達目標》

洋舞特演 A・Bで習得した動きから、さらに発展させていく。ステージパフォーマンスの基本となる JAZZ ダンスの基礎的な動きを使った様々なコンビネーション(振付)を経験することで表現の幅を広げる。動きに感情を乗せ、音楽にあった表現の仕方を身につける。

《成績評価基準》

授業で習った様々な動きや振付をどれくらい習得できているか、音楽に合わせた表現が出来ているか実技試験で判断する。毎回の授業で集中し自身の身体をコントロールしようと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《成績評価の方法》

実技 30%
授業の取組 70%

《参考図書》

「ダンス解剖学」ジャッキー・グリーン・ハース著
武田淳也 監訳

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	はじめに(レッスンを受講する際の注意点)	予習:好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習:レッスンを受ける際の注意点を復習しノートにまとめる(30分)
2	基本的な動きの復習1 + 踊るためのトレーニング	予習:好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
3	基本的な動きの復習2 + 踊るためのトレーニング	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
4	基本的な動きの復習3 + 踊るためのトレーニング	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
5	基本的な動きの復習4 + 踊るためのトレーニング	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
6	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション1	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
7	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション2	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
8	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション3	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
9	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション4	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
10	コンビネーション応用(感情表現)1	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
11	コンビネーション応用(感情表現)2	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
12	コンビネーション応用(感情表現)3	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
13	コンビネーション応用(感情表現)4	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動きを自主練習する(30分)
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習:実技テストの準備をする(30分) 復習:テストの内容を復習し改善点をノートにまとめる(30分)
15	フィードバック・まとめ	予習:1年間の授業で習った内容を振り返る(30分) 復習:テストのフィードバックを受け、動きを練習する(30分)

《実務科目》

科目名	MCトーク				
担当者氏名	金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

テレビ中継でのレポートやMCの経験を持つ教員が、テレビやステージでの自分の見せ方や豊かな表現の習得、リポーターの立場とカメラマンの立場の二つの目線からレポートを構成できるようにするための実践的授業を行う。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

希望があれば解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

言葉はもちろん、表情や動きで自己の能力を最大限発揮し、表現することができるようになる。
相手に伝わる声の大きさで、状況に応じた言葉を適切に使えるよう知識や技術を習得する。言葉や構成が適切であったか、客観的に評価できるようになる。

《成績評価基準》

授業で習った発声方法、滑舌、言葉遣いをどのくらい習得できているか、見ている人に伝わるように、話すスピードや内容の構成方法に工夫があるか、実技試験で判断する。
また、毎回の授業で、表情や動きを豊かに表現しているか、授業へ取り組む姿勢を評価する。

《成績評価の方法》

実技 40% 授業の取組 60%

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	フリートーク	発声練習(30分) 授業で得た知識をもとにフリートークを修正してみる(30分)
2	フリートーク	発声練習(30分) 授業で得た知識をもとにフリートークを修正してみる(30分)
3	ステージでの話し方	発声練習(30分) 日常とステージ上での声の出し方の違いを研究する(30分)
4	司会進行	発声練習(30分) 司会を自主練習する(30分)
5	司会進行	発声練習(30分) 司会を自主練習する(30分)
6	インタビュー	発声練習(30分) インタビューのつもりで誰かに質問してみる(30分)
7	インタビュー	発声練習(30分) インタビューのつもりで誰かに質問してみる(30分)
8	食レポ	発声練習(30分) 夕飯を食べた時に味を言葉で表現する(30分)
9	食レポ	発声練習(30分) 夕飯を食べた時に味を言葉で表現する(30分)
10	ナレーション	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
11	ナレーション	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
12	ナレーション	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
13	朗読	発声練習(30分) 好きな本を声に出して読む(30分)
14	朗読	発声練習(30分) 好きな本を声に出して読む(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)

《実務科目》

科目名	アフレコ				
担当者氏名	小鶴 史江				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

アフレコのために必要な、『声だけで表現する演技』の技術について学ぶ。また、声優が主として行う全般的な仕事も体験し、自分らしい演技と自分らしい演出方法を開拓する。

《教科書》

こちらで用意する台本等

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技に対し、口頭で行う。

《授業の到達目標》

- ・マイク前で個性や感情を自由に表現できる。
- ・表現したいことを他者に説明し、自分自身を演出できるようになる。
- ・豊かな感情表現を身に着ける。
- ・他者と自分との違いを見つけ、相手を認められる。

《成績評価基準》

- ・演出プランや推測される感情、感覚を説明できるか。
- ・演出プランを作り、その通りに表現できるか。
- ・表現する事を楽しめているか。
- ・次回の目標点を定められるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 % 実技 60%
授業の取組 30%
その他(成長率(見込)) 10%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	個々を表現する	予習：自分の魅力を見直す。(10分) 復習：他の人との感じ方の違いを見つけ、なぜそう感じたのか考える。(10分)
2	会話のコツを掴む	予習：自分の言葉が相手に伝わっていると感じる。(10分以上) 復習：日常生活の中で、相手に伝わるよう説明してみる。(10分以上)
3	会話台本の実習	予習：会話の"受け取る""渡す"感覚を思い出しておく。(30分) 復習：メディア作品の会話を視聴し、会話が成立しているかを感じる。(30分)
4	アフレコ台本の読み方とチェック方	予習：台本を自分なりにチェックしておく。(10分以上) 復習：台本に合わせて、実際に動きながらしゃべってみる。(30分)
5	アフレコ実習(1)	予習：アフレコ台本のチェック。(30分以上) 復習：課題を実際に声に出し、演じてみる。(30分以上)
6	アフレコ実習(2)	予習：アフレコ台本のチェック。声出し(20分) 復習：アフレコ台本のチェック。声出し。(30分以上)
7	アフレコ実習(3)	予習：アフレコ台本のチェック。声出し。(20分) 復習：課題を実際に声に出し、演じてみる。(30分以上)
8	アフレコ実習(4)	予習：アフレコ台本のチェック。声出し。(20分) 復習：アフレコ作品の鑑賞。(30分)
9	表現するナレーション(CM)	予習：様々な作品のCMナレーションを聞き、どう感じたかを考える。(15分) 復習：課題をひとりでもやり直してみる。(15分以上)
10	表現するナレーション(朗読)	予習：課題をチェックし、演出を考えてみる。(15分) 復習：課題を一人の時にやり直してみる。(15分以上)
11	表現するナレーション(BGMのせ)	予習：BGM付きのナレーション作品を聞き、どう感じたかを考える。(15分) 復習：様々な音楽にのせて、課題をやり直してみる。(15分以上)
12	ボイスサンプル作成	予習：自分の魅力を表現できる作品を見つける。*持参可(30分) 復習：今回の課題を読み直してみる。(30分)
13	ボイスサンプル実習	予習：自分の魅力を表現できる作品を見つけ、演出しておく。(30分) 復習：今回の課題を読み直してみる。(30分)
14	半期の成果の発表	予習：課題について考え、声に出して表現する。(30分) 復習：『リラックス』し、再度プラン通りに読み直してみる。(30分)
15	半期の振り返りと個々の『課題』の提案	予習：前回の課題を復習しておく。(30分) 復習：今までの渡されている課題を『語り』直してみる。(30分)

《実務科目》

科目名	ラジオ番組制作演習				
担当者氏名	上田 知佳				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

練習、反省を繰り返す事で、ラジオでのレポートが出来るようになる。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験後、コメント、アドバイスをを行う。

《授業の到達目標》

ラジオでのレポートの仕方を学び、表現出来るようになる。

《成績評価基準》

授業への取組、日々のレポート内容から総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 50 %
 授業の取組 50 % その他 () %

《参考図書》

適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：好きなラジオ番組を聴いておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
2	自己 PR について。	予習：自己PR をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
3	ラジオレポート実習。(季節ネタ)	予習：桜について描写、レポート出来るよう見てまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
4	1分間スピーチ。	予習：日々の出来事を1分間で話す練習。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
5	ラジオレポート実習。(季節ネタ)	予習：あじさいについて描写レポート出来るよう見てまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
6	ラジオレポート実習。(エリアの祭り)	予習：博多どんたくについてレポート出来るよう調べる。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
7	ラジオレポート実習。(時事ネタ)	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
8	ラジオレポート実習。(時事ネタ)	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
9	ラジオレポート実習。(時事ネタ)	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
10	ラジオレポート実習。(エリアの祭り)	予習：山笠についてレポート出来るよう調べる。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
11	1分間スピーチ。	予習：日々の出来事を1分間で話す練習(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
12	ラジオレポート実習。(時事ネタ)	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
13	ラジオレポート実習。(時事ネタ)	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
14	ラジオレポート実習。(時事ネタ)	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
15	ラジオレポート実習。(時事ネタ)	予習：新聞を読み、気になる話題をまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)

《実務科目》

科目名	オーディション対策				
担当者氏名	川野 聡子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。			

《授業の概要》

プロモデルレッスンコーチがモデルの経験を生かし、芸能界で行われる様々なオーディションに対応できるように、オーディションの内容や役柄に合わせ、自己PR、話し方から実技までを実施します。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

・オーディションの内容、対策を考えられるようになる
 ・内容に合わせ、自己PRがスムーズに出来るようになる
 ・自己プロデュース能力を高めることができる
 ・表情・表現力を高めることができるようになる

《成績評価基準》

実技試験の結果により評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 80%
 授業の取組 20%
 その他 () %

《参考図書》

使用しない

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己紹介	自己紹介文の作成(30分)・自己紹介文の修正(30分)
2	自己PR	自己PR文の作成(30分)・自己PR文の修正(30分)
3	自己PR	自己PR文の作成(30分)・自己PR文の修正(30分)
4	質疑応答	質問作り(30分)・返答の練習(30分)
5	表情トレーニング・笑顔の表現	表情トレーニング(30分)・笑顔の練習(30分)
6	撮影 表情と上半身のポーズ	姿勢、表情の見直し(30分)・表情の練習(30分)
7	撮影 下半身のポーズ	ポーズの練習(30分)・ポーズの練習(30分)
8	撮影 表情と全身のポーズ	ポーズの練習(30分)・ポーズの練習(30分)
9	演技課題 オーディション形式	発声練習(30分)・演技の練習(30分)
10	演技課題 オーディション形式	発声練習(30分)・演技の練習(30分)
11	演技課題 オーディション形式	発声練習(30分)・演技の練習(30分)
12	演技課題 オーディション形式	発声練習(30分)・演技の練習(30分)
13	演技課題 オーディション形式	発声練習(30分)・演技の練習(30分)
14	オーディション基礎 総合	表情の練習(30分)・表情の練習(30分)
15	まとめ	自己紹介、PRの練習(30分)・総合的な見直し(30分)

《実務科目》

科目名	キャリア研究				
担当者氏名	原田 愛子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

自己理解、仕事理解を深め、自分のキャリアプランをデザインする。自分の望む進路、夢の実現ができるような必要なスキルを身につける。
個別面談のなかで一人一人のキャリアサポートを行う。

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題ごとに個別にコメントを伝え、随時フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

自分のキャリアプランに沿って、進路や夢実現のためにどう取り組むかを学び、自分をアピールできるようになることを目標とする。

自己分析を行い、キャリアプランを設定する
仕事理解を深め、自分の理想とする働き方を明確にする
キャリアプランに沿った目標を設定する
自己PR、志望動機など相手にきちんと伝えることができる

《成績評価基準》

授業に取り組む姿勢と、課題、実技により授業目標 ~ の到達度を評価する。

《成績評価の方法》

授業の取組50% 課題30% 実技20%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己分析 個別面談	予習：これまでの自分を振り返る(2時間) 復習：課題に取り組み自己理解を深める(2時間)
2	自己分析 個別面談	予習：課題に取り組み自己理解を深める(2時間) 復習：講義内容を振り返り自己理解を深める(2時間)
3	仕事理解 個別面談	予習：課題に取り組み仕事について考えておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り仕事理解を深める(2時間)
4	仕事理解 個別面談	予習：課題に取り組み自分の働き方について考える(2時間) 復習：講義内容を振り返り理想の働き方を考える(2時間)
5	キャリアデザイン 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
6	キャリアデザイン 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
7	キャリアデザイン 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
8	キャリアデザイン 個別面談	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
9	書類作成 個別面談	予習：自分の長所、短所、過去の成功体験、失敗体験などを書き出す(2時間) 復習：講義内容を振り返り自己PRをまとめる(2時間)
10	書類作成 個別面談	予習：志望動機を考え書類を作成する(2時間) 復習：講義内容を振り返り書類をまとめる(2時間)
11	書類作成 個別面談	予習：自分PRや志望動機を考え書類作成する(2時間) 復習：講義内容を振り返り書類をまとめる(2時間)
12	面接対策 個別面談	予習：自己PR、長所短所、志望動機が伝えられるよう練習しておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り長所、短所、志望動機をまとめる(2時間)
13	面接対策 個別面談	予習：自己PR、長所短所、志望動機が伝えられるよう練習しておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り自分について相手に伝えられるようまとめる(2時間)
14	面接対策 個別面談	予習：面接の練習をする(2時間) 復習：講義内容を振り返り面接の練習をする(2時間)
15	まとめ 個別面談	予習：講義内容を振り返りキャリアプランを再確認する(2時間) 復習：夢実現に向けてすべきことを実践していく(2時間)

《実務科目》

科目名	シナリオ朗読				
担当者氏名	(未定)				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《実務科目》

科目名	宣材制作演習				
担当者氏名	今木 清志、宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

本科目は宣材制作演習 の継続である。芸能界に入るためには、芸能プロダクションが主催する事務所オーディションに合格しなければなりません。本学科に開講されている「オーディション対策」「MC トーク」「ラジオ番組制作演習」「モデルストリート」「アフレコ」などと連動した科目であり、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員が総合的に魅力ある自己 PR ができるよう指導します。

《授業の到達目標》

タレント・モデル・女優・声優の世界で行われる様々なオーディションに対応できるように学生を指導し、学生各個人がオーディションを受ける際に、主催事務所がいかなる新人を求めているのかの判断ができ、相手が興味を持てるような魅力ある自己 PR が出来るようになること。

《成績評価の方法》

実技 50%
授業の取組 50%

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

オーディション終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《成績評価基準》

本学科の教員が、あたかも芸能事務所の面接官になったとの想定の上で、個人を厳しく評価する。

《参考図書》

「可愛く美しく撮るための究極メソッド」
HASEO 著 玄光社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	宣材制作演習 での経験をもとに活動計画を検討	予習：魅力ある自己 PR ができるよう研究する(30分) 復習：年間計画の見直し(30分)
2	観察 オーディション情報を調査・収集	予習：各種オーディションサイトの閲覧(30分) 復習：調査・収集した情報の整理(30分)
3	観察 オーディション情報の分析・まとめ	予習：各種オーディションサイトの閲覧(30分) 復習：調査・収集した情報の整理(30分)
4	観察 各芸能事務所の傾向を調査	予習：志望業界の動向を調査する(30分) 復習：調査・収集した情報の整理(30分)
5	観察 各芸能事務所の傾向を分析・まとめ	予習：志望業界の動向を調査する(30分) 復習：調査・収集した情報の整理(30分)
6	観察 非常勤講師から各業界の情報を収集	予習：志望業界の動向を調査する(30分) 復習：調査・収集した情報の整理(30分)
7	実践 宣材写真を撮影する	予習：魅力ある宣材写真の撮影ができるようメイクや服装を研究する(30分) 復習：撮影した宣材写真の分析・反省点をまとめる(30分)
8	実践 撮影した宣材写真を評価・分析	予習：魅力ある宣材写真の撮影ができるようメイクや服装を研究する(30分) 復習：撮影した宣材写真の分析・反省点をまとめる(30分)
9	実践 服装や表情のアドバイスを受ける	予習：魅力ある宣材写真の撮影ができるようメイクや服装を研究する(30分) 復習：撮影した宣材写真の分析・反省点をまとめる(30分)
10	実践 自身や他の学生それぞれの変化を分析する	予習：他学生との情報交換を積極的に行う(30分) 復習：話し方・特技などのアドバイスを受け分析・反省点をまとめる(30分)
11	実践 魅力ある自己 PR ができるよう研究する	予習：他学生との情報交換を積極的に行う(30分) 復習：話し方・特技などのアドバイスを受け分析・反省点をまとめる(30分)
12	実践 宣材写真を再度撮影する	予習：魅力ある宣材写真の撮影ができるようメイクや服装を研究する(30分) 復習：撮影した宣材写真の分析・反省点をまとめる(30分)
13	実践 撮影した宣材写真を評価・分析	予習：魅力ある宣材写真の撮影ができるようメイクや服装を研究する(30分) 復習：撮影した宣材写真の分析・反省点をまとめる(30分)
14	各種オーディションへの応募	予習：魅力ある自己 PR ができるよう研究する(30分) 復習：オーディション会場の雰囲気・質問された事柄などをまとめる(30分)
15	各種オーディションへの参加	予習：魅力ある自己 PR ができるよう研究する(30分) 復習：オーディションの雰囲気・質問された事柄などを後輩へ伝える(30分)